

## EUSI メールマガジン Vol. 079 「難民問題と EU 中のチェコ共和国」(中田瑞穂)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)  
[http://eusi.jp/content\\_jp/aboutus/about\\_eusi/](http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/)

### 【EUSI Commentary Vol. 061】

#### 「難民問題と EU 中のチェコ共和国」

中田瑞穂 (明治学院大学国際学部教授)

秋も深まり、朝夕には風の冷たさに首をすごめるようになって、シリアやアフガニスタンからヨーロッパに向かう難民の列は途切れる気配はない。2015年の夏は、トルコからバルカン半島を縦断してドイツを目指す難民が急増した。大きな荷物を抱え、小さな子ども連れで、スマートホンの情報を頼りに移動する難民たちの姿が、いくつもの悲劇とともにメディアで大きく取り上げられ、注目を集めた。

ダブリン協定が維持されなくなっていく中で、代案として欧州委員会が提案したのが、最初に入国した国にかかわらず、EU圏全体で受け入れた難民を全加盟国で割合を決めて引き受ける割当制である。既に春にギリシャ、イタリアが引き受けている4万人の難民の割当が提案されたが実現せず、9月には2カ国にハンガリーも加え、12万人増やした16万人の割当が議論された。この提案をめぐって、チェコでは思いがけず激しい反対の声が起り、国内を二分する議論となっている。

難民問題では、東中欧諸国の中でも、ハンガリーが難民を足止めしたり、国境に鉄条網の壁を建設したりと、注目を集めているのに対し、チェコは特にそのような「はなばなし」行動をとってきたわけではない。ハンガリーのようにEU圏の外輪をなしている国と異なり、国境すべてをEU加盟国に囲まれた「内陸国」であり、隣国ドイツに比べ経済的にも魅力的な行き先ではないチェコにとって、これまで難民問題は大きな争点ではなかった。2015年春の協議の際、チェコは割当制には反対したが、2017年までに段階的に1500人の難民を自発的に引き受けることを決めており、一定の協力姿勢を示していた。

しかし、8月末から9月の難民危機を経て、チェコも相当規模の難民の引き受けを迫られる展開になるにつれて、国内では、EUの難民問題解決方法や、難民そのものへの批判が強まり、政治家の発言や、政策にも反映されるようになった。

社民党やソボトカ首相はEU統合支持が明確で、EUの方針と衝突するような行動はこれまで見られなかった。しかし・・・

・・・

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol61.pdf>

## 【EUSI サマースクール報告】

### 「7th Euro-Asia Summer School を終えて」

並木優斗 (一橋大学国際・公共政策大学院グローバルガバナンスコース修士 1 年)

Euro-Asia Summer School は EU とアジアにおける地域統合、およびこれらの地域から見たグローバル・ガバナンスについて学ぶことを目的としたプログラムである。

今年は韓国とベルギーでそれぞれ 1 週間ずつ開催され、日本、韓国、そしてヨーロッパの国々から、多様なバックグラウンドを持つ学生が参加した。

私はと言えば、学部では米文学を専攻しつつ英語教師を志して勉強に励んでいたが、「教育のグローバル化」と呼ばれる現象に関心を持ったことがきっかけとなり、現在は一橋大学国際・公共政策大学院のグローバル・ガバナンスコースに所属している。

それまでの自分にとっては思いがけず、「グローバル」と名のつく大学院に迷い込んでしまったわけだが、残念ながら海外経験らしいことは一度もない。本稿は、そのような浅学かつ今回初めて海外という大海を知った蛙の記録である。

日本からベルギーまでは飛行機で 13 時間。機内で席が隣だったアラブ系の方から積極的に話しかけていただいたこともあって、心身ともに疲労した状態でベルギーへ到着した。

しかし、現地では見るもの全てが新しく、あまりの驚きに疲れも吹き飛ばすほどであった。

...

(続きはこちら↓)

<http://eusi.jp/collaboration/report/summerschool2015-report2/>

## 【EUSI イベントご案内】

### 1. EUSI 講演会

日時: 2015 年 10 月 19 日(月) 16:30-18:00

場所: 一橋大学 国立東キャンパス マーキュリータワー5 階 EUSI 会議室

講演: Michael Reiterer (欧州対外行動庁(EEAS) アジア・太平洋局首席顧問)  
「The EU's Security Interests in Asia and the Strategic Partnership with Japan」

司会: 小川英治 (一橋大学商学研究科教授、EUSI 顧問)

言語: 英語

参加: 事前申込要

参加ご希望の方は、10 月 15 日(木)までに、1. 氏名、2. 所属、3. どうやってこのワークショップを知ったかを、EUSI 事務局 ([info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)) 宛にご連絡ください。なお、座席に余裕があれば、当日参加も可能です。

<http://eusi.jp/outreach/2015-10-19/>

### 2. EUSI Workshop「多言語主義と欧州私法の調和: 課題と展望」

日時: 2015 年 11 月 4 日(水) 13:00-14:30

場所: 一橋大学 国立東キャンパス マーキュリータワー5 階 EUSI 会議室

講演: 「多言語主義と欧州私法の調和: 課題と展望」

バルバラ・ポッツォ (イタリア インズブリア大学教授)

司会: 中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 所長)  
言語: 英語

参加: 事前申込要

参加ご希望の方は、11 月 2 日(月)までに、1. 氏名、2. 所属、3. どうやってこのワークショップを知ったかを、EUSI 事務局 (info@eusi.jp) 宛にご連絡ください。なお、座席に余裕があれば、当日参加も可能です。  
<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/2015-11-04/>

### 3. EUSI シンポジウム「グローバル環境ガバナンス」

日時: 2015 年 11 月 6 日(金) 13:15-17:30 (13:00 開場)  
場所: 一橋大学 佐野書院 (国立西キャンパス)  
言語: 英語 (同時通訳)

13:20-14:40

バルバラ・ポッツォ (イタリア・インズブリア大学教授)  
「ヨーロッパにおける環境損害責任: 調和された制度？」

15:00-17:15

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 所長)  
「EU 環境法の日本への影響: 化学物質規制を中心に」(仮)  
Uli Wienrich (駐日欧州連合代表部通商部)  
「EU 気候変動政策」  
木村ひとみ (大妻女子大学准教授)  
「COP21(パリ)に向けた 2020 年以降の新枠組み交渉と EU 気候変動法政策」

参加: 事前申込要

参加ご希望の方は、11 月 2 日(月)までに、1. 氏名(フリガナ)、2. 所属、3. 何でこのシンポジウムを知ったかを明記の上、EUSI 事務局 (info@eusi.jp) に参加をお申込みください。  
<http://eusi.jp/outreach/2015-11-06/>

### 4. 獨協大学及び日仏会館より講演会ご案内

獨協大学主催・日仏会館フランス事務所共催講演会  
「ロシア・ヨーロッパ連合・ウクライナ: 国際紛争の理由」

日時: 2015 年 10 月 22 日(木) 18:00-20:00  
場所: 日仏会館 501 会議室

講演: ヤン・リシャール (Yann Richard: パリ第 1 大学教授)  
司会・通訳: 小柳春一郎 (獨協大学教授)

主催: 獨協大学  
共催: 日仏会館フランス事務所  
言語: 仏語 (逐次通訳付)

参加: 参加者限定の研究セミナー等を除き、特に記載のない限り、日仏会館フランス事務所主催の催しはすべて一般公開・入場無料です。

席数に限りがございますので、事前のお申し込みをお願いいたします。  
[http://www.mfj.gr.jp/agenda/2015/10/22/20151022\\_le\\_conflict\\_russie/index\\_ja.php](http://www.mfj.gr.jp/agenda/2015/10/22/20151022_le_conflict_russie/index_ja.php)

### 【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 所長)

「EU における個人データ保護権と『忘れられる権利』」

奥田喜道編『ネット社会と忘れられる権利 個人データ削除の裁判例とその法理』

(現代人文社、2015 年 10 月 9 日刊行予定) 20-40 頁

<http://218.42.146.84/genjin//search.cgi?mode=detail&bnum=50111>

### 【EU に関するニュース】

- 2015 年 9 月 16 日 欧州委員会、現行の投資家対国家間の紛争解決(ISDS)枠組に代わる投資裁判所制度を提案
- 2015 年 9 月 16 日 Eurostat、8 月消費者物価上昇率(確定値)はユーロ圏 19 カ国で前年同月比+0.1%と下方修正
- 2015 年 9 月 16 日 Eurostat、難民庇護第 2 四半期分報告発表。難民庇護新規申請数は 21.3 万人と前期比 15%増
- 2015 年 9 月 17 日 欧州議会、12 万人の移民・難民の EU 加盟国受入割当に関する 9 月 9 日欧州委員会案を採択
- 2015 年 9 月 17 日 欧州委員会、長期失業者に対する個別評価と雇用統合協定を柱とする再就労支援案を提案
- 2015 年 9 月 17 日 モグリーニ上級代表、ブルキナファソでのクーデターに対し大統領拘束解放を求める声明
- 2015 年 9 月 17 日 モグリーニ上級代表ら、前日のチリでの M8.3 地震に対し見舞いと支援の用意に関する声明
- 2015 年 9 月 17 日 財務省貿易統計、8 月対 EU 貿易(速報値)は輸出 5950 億円、輸入 7685 億円で月赤字過去最大
- 2015 年 9 月 18 日 EU 環境理事会、COP21 に向けた EU の方針を採択。2020 年までに排出量減傾向目標などが柱
- 2015 年 9 月 18 日 米・経済政策研究所(EPI)報告書、中国の市場経済地位認定で EU は 350 万人雇用喪失と予測
- 2015 年 9 月 20 日 ギリシャ総選挙(定数 300)、与党・SYRIZA145 議席、ツィプラス首相続投。野党 ND75 議席
- 2015 年 9 月 21 日 欧州委員会及び欧州対外行動庁、対外関係を通じた男女平等・女性地位向上への枠組採択
- 2015 年 9 月 21 日 潘基文国連事務総長、移民・難民危機に直面する欧州の情勢に対して深刻な懸念の声明
- 2015 年 9 月 22 日 EU 司法・内務理事会、難民 12 万人各国割当の 9 月 9 日欧州委員会案承認。東欧 4 カ国は反対
- 2015 年 9 月 22 日 英 Survation 世論調査、英の EU 残留支持 42.1%、離脱支持 38.1%で、残留派が離脱派上回る
- 2015 年 9 月 23 日 EU 緊急首脳会議、難民危機で UN・WFP 等に 1 億ユーロ支援で合意。国境管理問題で対立残す
- 2015 年 9 月 23 日 欧州議会環境委員会、VW 社排ガス規制回避ソフト使用不正で、規制強化急ぐ修正法案可決
- 2015 年 9 月 24 日 欧州委員会、VW 社排ガス規制回避ソフト使用不正で、加盟国に同ソフト使用有無調査要請
- 2015 年 9 月 25 日 EU・露・ウクライナ天然ガス協議、露のガス供給再開で基本合意、10 月より翌 3 月末まで
- 2015 年 9 月 25 日 ステイリアニデス欧州委員、ウクライナ東部当局の人道支援機関に対する退去決定を非難
- 2015 年 9 月 25 日 駐日 EU 代表部ら「日本と EU 共通の課題と協力の可能性」シンポジウム共催、日欧議員参加
- 2015 年 9 月 25 日 国連「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」採択。翌日ミツァ欧州委員ら祝意声明
- 2015 年 9 月 27 日 スペイン・カタルーニャ自治州議会選挙(定数 135)、独立派賛成政党が計 72 議席で過半数
- 2015 年 9 月 28 日 第 5 回 EU・中国ハイレベル経済通商対話、中国対 EU 投資計画や 5G 通信技術協力合意書調印

- 2015 年 9 月 28 日 EU 政治・安全保障委員会、地中海 EU 海軍部隊の密航取締を「ソフィア作戦」に改名で合意  
2015 年 9 月 28 日 欧州評議会、ハヴェル人権賞を露の人権活動家リュドミラ・アレクセエヴァに授与発表  
2015 年 9 月 28 日 英 YouGov 世論調査、英の EU 離脱支持は 40%、残留支持 38%で、離脱派が残留派を上回る  
2015 年 9 月 29 日 トゥスク欧州理事会常任議長、国連総会で難民危機・シリア危機・気候変動に関して演説  
2015 年 9 月 29 日 EU 政治・安全保障委員会、バルビエリ伊少将をソマリア EU 海軍部隊作戦部隊司令官に任命  
2015 年 9 月 29 日 EU、11 月 8 日ミャンマー総選挙のため選挙監視団(EOM)派遣。EU の同国選挙監視は初めて  
2015 年 9 月 29 日 欧州委員会、9 月景況感指数はユーロ圏 19 カ国 105.6 で前月比+1.5、EU28 カ国 107.6 で同+0.6  
2015 年 9 月 30 日 欧州委員会、難民危機への予算措置第一弾として本年分 8.13 億ユーロの予算計画案を提示  
2015 年 9 月 30 日 欧州委員会、国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)に 3000 万ユーロの追加支援を発表  
2015 年 9 月 30 日 中東カルテット(EU・米・ロ・国連)、国連総会の傍らで中東和平交渉停滞打開に向け協議  
2015 年 9 月 30 日 Eurostat、8 月失業率(季節調整済)はユーロ圏 19 カ国 11.0%、EU28 カ国 9.5%で共に前月同

#### 【編集後記】

10 月 5 日に一橋大学において、「EU 移民法の行方ドイツとヨーロッパへの難民流入を受けてー」と題するワークショップが開催されました。テーマがタイムリーだったこともあり、学生や院生以外にも実務家を含む多くの方が国立まで足を運んでくださり、独コンスタンツ大学のダニエル・ティム教授の鋭い視点からの講演に耳を傾けておられました。

10 月 19 日には、ご案内のように、元駐日 EU 代表部公使で現在は EEAS(欧州対外活動庁)のスペシャル・アドバイザーを務める Michael Reiterer 氏による講演会が開かれます。EU とアジアとの関係、特に EU と日本との戦略的パートナーシップの問題について興味深いお話を聞けるものと期待しています。

EUSI では、年末に大詰めを迎えると予想される日・EU 間の FTA についてのシンポジウムを予定しているほか、多彩なゲストを招聘して開催するプロジェクトが目白押しです。EUSI を構成する各大学のキャンパスもすっかり秋めいて、思索を深めるにはもってこいの季節になりました。今後のイベントについてはメルマガでも順次お知らせしていきますので、皆様のご参加をお願いいたします。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

高校時代グリークラブに所属し男声合唱をしていた私にとって、この時期は全国各地でコンクールや定期演奏会や合唱祭などが重なる時期でもあります。ところで日本の男声合唱の愛唱歌のひとつに「U Boj, U Boj(ウボイ)」という歌があります。元々はクロアチアの歌劇で、1566 年のオスマン帝国ヨーロッパ遠征を受け、ハンガリーの要路シグトバル要塞をオスマン帝国軍数万人に包囲されながらもわずかの兵で護り抜き、最後には壮絶な死を遂げたクロアチアの国民的英雄ズリンスキ將軍(Nikola Subic Zrinski)の史実を基にした歌です。この歌が日本に伝わったのは、第一次世界大戦とシベリア出兵がきっかけです。1919 年、極東から引き揚げるチェコ軍が神戸に逗留していた折に、当時の関西学院大学グリークラブの団員がチェコ軍の軍楽隊より教えてもらったことが始まりでした。その後長い間東欧から遠く離れた日本の地で、関学グリーの持ち歌として歌い継がれてきたのが拡まってゆき、今では日本全国の男声合唱

団で愛唱歌として歌われています。

また EU や欧州評議会にて「ヨーロッパの歌」として象徴と位置付けられているベートーベン作曲交響曲第九番「歓喜の歌」は、日本では「第九」の名で親しまれており、年末には全国各地で演奏される年の瀬の風物詩となっています。この歌が日本に伝わったのも、第一次世界大戦がきっかけでした。

1918 年、徳島県に収容されていたドイツ軍捕虜により演奏されたのが初演で、戦後に入り日本交響楽団や群馬交響楽団が年末に演奏して成功を収めるようになりました。以後全国各地の多くの楽団で、プロとアマの垣根を超えて年末に演奏会が行われるという、日本特有の愛好的現象が生まれるようになりました。芸術の秋を迎え、連休中に演奏会や展覧会などに足を運ぶ方も多いかと思えます。この秋も、皆様にとって良い演奏や作品との出会いに恵まれることを願っています。

関西学院大学グリークラブ「U Boj, U Boj」(1981 年)  
<https://www.youtube.com/watch?v=s98yx9eJr1A>

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

---

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo  
〒186-8601 東京都国立市中 2-1  
一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局  
TEL: 042-580-9117 / E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての  
問い合わせにつきましてはこちら  
E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

---